



ジャックと豆の木

大分大学教育学部附属幼稚園（文責／園長 石川照代）



ことばあそびのすすめ②

今日の1枚!

小学校の国語では、「詩」という文学のジャンルに触れます。各学年のスタートが「詩」で始まる教科書も多くあります。1年を通して、四季折々の詩を鑑賞したり、日々の生活の様子を詩で表現したりする楽しい教材です。

子どもたちの作品で、「なかなかうまいなあ!」「情景が目浮かぶようだな!」と唸らせてくれる子どもの詩があります。それらにはいくつか共通点があって、その一つは「オノマトペ」がとても効果的に使われていることです。

「オノマトペ」とは、自然界の音・声、物事の状態や動きなどを音(おん)で象徴的に表したもののことで、「ドカーン」「サラサラ」「ワンワン」などは擬音(声)語、「ツンツン」「ソワソワ」「ドキッ」などを擬態語と言います。子どもたちは既にこの「オノマトペ」を使っています。気をつけて聞いてみて下さい。そして、是非、「ホントだね、ゴーツゴーツって聞こえるね」と、復唱しながら、共感してあげましょう。

また、子どもとの会話では、大人も思いっきりオノマトペを多用してみましょう。例えば「えっちゃん!朝からトロンとした目で、何だかフワフワした感じだけど、大丈夫?お味噌汁飲むとシャキッとするんだって!ゴクリと一口飲んでいったら?」みたいに。

「オノマトペ」で楽しい「なぞなぞ遊び」もできます。「夏にプーンと飛んできて、チクリと刺す虫、ななんだ?」なぞなぞには、オノマトペを一つ以上入れるのを条件にして代わり番こに出題します。家族の誰かを問題にしたり、食べ物を問題にしたり、範囲を限定すると考えやすいですね。当たったら「ピンポーン!」外れは「ブッポー!」これもオノマトペ。

こんなことを考えると、子どもとの会話も楽しくなるし、子どもの表現の面白さにも触れて、きっと感動することもあるでしょう。

ことば遊びの良さは、「～ながらふれ合い」ができることです。お料理しながら、洗濯物たたみながら、散歩しながらはベスト!子どもの知的な面を刺激するオススメの遊びです。(小学生にもかなり有効ですよ!)



●年長「寝て作業!」
カッコイイ!何だか将来の働く姿が浮かんでくるようです!



●年中「保育参加」
楽しさを感じて下さり、難しさを感じて下さり、

●年少「アカペラ!」
1人が歌い出すと、その場の全員が歌い出すなんて!

今年もりのままの氣清い姿でした!

先週の土曜日(9日)、二つの研究会を無事に終えることができました。受付などでPTA役員の皆様にもご協力頂きました。有り難うございました。

この様な研究会のメインは、何と言っても生の「保育場面」を見て頂くことです。子どもたちの様子はというと、流石です!人の多さにも全く動じることなく、いつものようにどっぴりと遊んでいました。参観者に声をかけられた子もいたでしょう。さてさて、何と答えたのやら(汗)「♪ありの～ままの～すがた見せるのよ～」は、ウチの公開研のテーマソング!今年も、参観者の皆さんに、良い学びを提供してくれました!先生方もお疲れ様でした!



●動物長づくんはにサアア!